

とっても元気な100歳です

高橋きよさんに松竹梅敬老祝金

4月8日に満100歳の誕生日を迎えた高橋きよさんが入所している市内の特別養護老人ホーム「えんじゅ」を風間市長が訪れ、祝詞と松竹梅敬老祝金を贈り、長寿を家族の皆さんと共に祝福しました。

きよさんは市内巨理町のご出身で、3人の娘さんをもうけられました。現在も非常に元気で、毎日趣味の折り紙づくりに励んでいます。「皆さんののおかげで100歳まで長生きできました」と、家族や施設関係者の方に感謝もひとしおのご様子でした。



やまびこプランが評価

毎日・地方自治大賞奨励賞を受賞

新しい時代の地域づくりを目指した地域独自の優れた事業、運動、企画を進めている全国の自治体を顕彰する、毎日新聞社主催の「2005年度毎日・地方自治大賞」の奨励賞を白石市が受賞しました。



3月13日、毎日新聞社仙台支局の尾崎支局長が市役所を訪れ、風間市長へ受賞の盾を伝達しました。

5月と10月には、「田舎暮らし体験ツアー」を開催し、さらに白石の魅力を多くの皆さんにご紹介することになっています。

楽しいまちづくりへのお手伝い

すまろ 壽丸屋敷で地元の民話を語りで熱演

壽丸屋敷で3月19日、テレビや映画などで悪役俳優として活躍中の山本昌平さんが、地元の民話を語るイベントを開催しました。



これは、山本さんの義母が住む当市の素晴らしさを再発見してもらおうと企画したもので、この日はハーモニカの演奏に続き、大鷹沢地区に伝わる宮城野と信夫のあだ討ち物語を生まれて初めて挑戦するという「かたりべ」で披露。山本さんの素晴らしい講談師ぶりに、参加した皆さんは大きな拍手を送っていました。

小中学生の功績をたたえて

吉見教育基金顕彰状授与式を開催

市庁舎で3月27日、スポーツや芸術活動で優れた成績を収めた小中学生を顕彰する、「吉見教育基金」の顕彰状授与式が行われました。

この基金は、平成9年3月に閉園した和洋裁学校「吉見学園」からの寄付金を基に創設されたものです。

9回目を迎えた今年も、スポーツ部門からサッカーや新体操で活躍された個人3名と団体2団体、芸術部門から絵画や作文などで活躍された個人5名の皆さんが選出され、顕彰状と記念品が授与されました。



みんなできれいなまちに!!

市内各地で清掃活動が行われました

4月1日と2日の両日、春の川干しに合わせて市内各地で清掃活動が行われ、多くの皆さんに清掃活動に参加いただきました。

1日には、観光協会と商工会議所の共催で清掃作業が行われました。桜の見ごろを迎える前に沢端川をきれいにしようと、約120名を超える市民の皆さんが参加しました。



▲川底のごみもきれいに!

また、NECトーキン(株)白石営業所とNECインフロンティア東北の社員と家族の皆さん約250名が参加し、ホワイトキューブ周辺や、しらさぎ

橋から雁狩橋間の斎川などでクリーン作戦を実施しました。



▲来年もたくさんの渡り鳥が来ますように

翌日2日には、市内一斉クリーン作戦が約7,000人の参加で行われ、多くの皆さんの手で美しくなりました。



▲開始式が行われた小原地区の清掃作業

大きくすくすくと育ててね!

新成人の皆さんが益岡公園に記念植樹

3月18日、益岡公園で平成17年度の新成人の皆さんによる記念植樹が行われました。



これは、新成人の皆さんが人生の大切な節目を迎え、ふるさとのために何かできることはないかと考え、成人式当日に募った協力金で「カツラ」と「ハナミズキ」の苗木を購入し、植樹したものです。

植樹を終えた新成人の皆さんは、「今日来れなかった新成人の皆さんも、ぜひ、自分たちの木を見に来てください」と話していました。

身を守る 昔甲冑 今ベルト作戦

春の交通安全運動キャンペーン

すまいるひろば協の県道で4月7日、白石地区交通安全協会などが中心となり、交通安全を呼び掛ける街頭キャンペーンが行われました。

「身を守る 昔甲冑 今ベルト作戦」と名付けられたキャンペーンには、風間市長や交通安全協会の皆さんをはじめ、約100人が参加。

恒例となった「甲冑工房片倉塾」の皆さんの甲冑武者も参加して、ドライバーに地場産品の温麺を配布しながら、「安全運転をお願いします」と声を掛けていました。



いろいろなところであいさつをさせていただく機会をちょうだいしています。それが舞台の上であったり、お膳を前にしてであったり、道端であったりとさまざまにシチュエーションの中で…。おのずと聞いてくださっている方との距離がそれぞれ違ってきます。その中で、私の視線の先に「大丈夫かしら?」と心配しているような、「でも頑張っ!」というように温かく見守られている感じを受けることが多々あります。そういうときは必ずといっていいほど、聞いてくださっている方の中に幼稚園時代や小学校・中学校時代の先生がおいでになります。A先生、Y先生、H先生などなど。子どものころからやんちゃ坊主でしたので、いまだに「心配をお掛けしております。でも本当にありがたい

ものです。そのような素敵な先生方と出会い、教えていただいたことに感謝と喜びを持ち続けています。「出来の悪い生徒ほど、かわい」って言うんですけど、「礼」とは、敬意や謝意を表し

ち続けなければなりませんし、また、いまさらながらに漢字ができた意味の深さに感じ入っています。先日、ある開会式の祝辞のとき、ちよっとしたハプニングがありました。主催者側の機転により、そ

君、あっ!市長さん」との声。A先生でした。開口一番「元気でやっているの?体は大丈夫?」いつまでも教え子の心配をしてくれる先生。ありがたい限りです。数分の立ち話の中で、「そうそう、広

お掛けしてしまいました(反省)。ごめんなさい。でもとてもうれしかったです。いつでも見守ってくださる諸先生方に感謝です。いつまでもお元気でいてください。

では話は変わりますが、「母親」のことを「ママ」と呼ぶ理由を皆様ご存じでしょうか?

